

## 高岡市総合計画審議会 第3回総括部会 議事要旨

- 1 日 時 令和3年11月8日(月) 18:00~20:00
- 2 場 所 高岡市役所8階 802 会議室
- 3 出席者 委員6名、参与2名、有識者2名、オブザーバー1名(オンライン)
- 4 概 要 (1)総合計画について
  - ・総合計画第3次基本計画の進捗状況及び総合計画第4次基本計画素案に対するパブリックコメントの結果等について報告
  - ・総合計画第4次基本計画(案)について意見交換
  - ・総合計画の策定スケジュールについて報告(2)総合戦略について
  - ・第2期総合戦略「みらい・たかおか」の進捗状況について報告※詳細については以下のとおり

### 5 総括部会の内容

#### (1) 開 会

#### (2) 市長挨拶

#### (3) 議 事

##### ① 総合計画について

事務局 資料No.1-1 第3次基本計画の進捗状況について、資料No.1-2 第4次基本計画素案に対するパブリックコメントの結果等について 説明

部会長 ・指標の達成状況について、80%を基準に判断しているが、以前から80%以上を基準としていたのか。

事務局 ・昨年度、第3次計画の中間総括をした際にも80%を目安として評価していた。

部会長 ・全体的に新型コロナウイルスの影響があったが、コロナ禍であっても取り組むべきことはしてきたという判断か。

事務局 ・オンラインへの対応など取り組むべき部分は取り組んできた。その中でも朗唱の会などはオンラインで実施したことにより、参加者の裾野が広がったと考える。

委員 ・構造的な部分(ハード面)は取り組むことができたが、運用していく面(ソフト面)では新型コロナウイルスの影響を受けたので、対策を講じてくという認識でよいか。

事務局 ・対策に努めながら取り組んでいく。

委員 ・指標を評価する目的とは何なのか。計画自体の妥当性や、計画の実施段階での対応がよかったのかという部分もある。コロナ禍という異常事態の中では、計画自体の妥当性や実施したことについて○×や、信号のように赤、青、黄などで簡潔に評価してもよかったのではないか。

事務局 資料№.1-3 第4次基本計画案について 説明

**【各部長から第4回専門部会の協議状況について発言】**

委員 ・産業・文化・交流部会では、高岡市民が高岡を知ることによって、対外的にもPRしてもらえることから、市民が高岡についてもっと知るべきとの意見が毎回出ていた。観光面で特に大事なことになるが、シビックプライドを高めるために行政と共に取り組むことが急務との意見もあった。

また、コロナ後の社会を見据え、DXを活用し、スマート農業や伝統産業の担い手を増やす取り組みを進める必要があるとの意見や、中心市街地活性化対策として、トランジットモールの社会実験を実施してはとの意見もあった。

コロナ禍によって、世の中が大きく変わったと感じている。対面での販売の売上げが減少し、ECサイトなどの売上げが好調になった。今後は、幅広に取り組むのではなく、優先順位を決め対策していく必要がある。

部会長 ・ひとつづくり部会では、幼児教育・保育の分野で、病児保育や認定こども園、放課後児童クラブの充実を求める意見があった。

教育分野では、GIGAスクール構想に対応するため、ICT環境を整備したことは良いが、教える側の教員に格差が出てくる可能性があり、教員の格差が子どもたちの格差につながる懸念があることから、平準化を図る必要があるとの意見もあった。また、小・中学校の統廃合の関係で、指標に「小学校一校当たりの児童数」というものがあったが、数値の根拠などの問題があり、今回のGIGAスクール構想に関連した指標に見直した。

生涯学習関連では、ストリートピアノの設置について、管理上の問題はあるかもしれないが、富山市などは取り組んでいるので、前向きに検討してほしいとの意見もあった。

委員 ・安全・安心部会では、コロナ禍の体験を活かした内容を総合計画に取り入れてほしいという意見や、様々な分野で高岡が頑張っていることがわかるようにしてほしいとの意見があった。以前から、子育て世代包括支援センターに取り組んでいるが、インターネットで検索しても出てこないの、市民がわかるように工夫してほしいとの意見があった。

地域包括支援センターについて、基幹型地域包括支援センターを長年要望しているため、充実してほしいとの意見があり、機能として取り組んでいるのであれば、市民にわかりやすく示せると安心するのではないかと意見もあった。

目標設定について、市民の意識や関心を図る指標をアウトカム指標として設定してはとの意見があり、安全・安心部会では、アウトカム指標を意識して盛り込んでもらっていると思う。

- 委員**
- ・ イベントを運営・維持していく自治会や組織等に対して、市としてどのように具体的に支援をしていくのか。大きなイベントは全国からも注目されるが、地域の祭りや小さいイベントは維持できない状態になっており、祭りがなくなることに対して、市としても真剣に考えてもらいたい。自治会役員のなり手がおらず、組織として運営できない状態になってきているため、自治会に対して、進むべき方向性を具体的に示す必要があるのではないか。
- 事務局**
- ・ 第4次基本計画では、「ひとの力」をテーマにしている。自治会組織の運営が難しいとの声もいただいております。地域組織のあり方については、今回の計画期間中に「ひとの力」をどのように地域に活かしていけるのか考えていきたい。  
P167では、共創の基盤の強化や共創の手法の活用について記載しており、持続可能な地域のあり方について検討していただける地域には、支援していきたいと考えている。昨年度から、地域おこし協力隊にも取り組んでおり、積極的に受け入れてもらえる地域を支援していきたい。  
また、今回、多機能地域自治組織の結成について、新たな指標として設定し市全域で取り組を進めていきたいと考えている。具体的な内容については、新年度予算以降にお示しできると思う。
- 委員**
- ・ P149の防災対策の充実について、先日、防災訓練を実施し、防災士として参加した。コロナ禍の中、人数を制限して実施したが、体温や家族の名簿の記入など、避難所に入るまでの書類が多く混雑しており、記載してある災害時の円滑な避難とはかけ離れていた。アプリを使うなどペーパーレスで避難者を受け入れることができないと、実際にたくさんの方が避難してこられると対応できない。地域での防災訓練から現状を把握してもらい、避難所運営マニュアルに反映してもらいたい。
- 参与**
- ・ P20の財政の見通しについて、一般会計では、毎年約600億と試算し、5年間で約3,000億円と見込んでいるが、残りの約400億円に対する考え方は。また、財政規律を守るための取り組みについても考え方を教えていただきたい。
- 事務局**
- ・ 本市の財政状況は、公債費の割合が非常に高く、財政健全化を進めていく上では、市債の発行を管理していく必要がある。現在も事業債については、45億円以内という上限を設定しており、第4次基本計画期間中においても、引き続きこの考え方を踏襲し、起債を管理していきたいと考えている。今回は、このような考え方も踏まえ財政の見通しを試算したところである。  
また、投資的経費については、5年間で約400億円を見込んでおり、現在計画がある

学校再編や消防庁舎の整備、道路の整備などの大型事業も見込んでいる。財政規律を保ちながら、未来に向かって道筋を示せる事業にもしっかりと取り組んでいきたい。

- 参与**
- ・説明資料 P12 のパブリックコメントの結果について、パブリックコメントは高岡を良くしたい人の意見だと思うので、計画等に反映することは良いことだが、10 件（7 人）というのは少ないのではないかと。市民からの意見が増えるような取り組みを進めることが、資料 No.1-3 の P174 の広聴活動の充実にもつながってくる。特に若い世代からの意見をもらうため、自分の意見が形として表れるような仕組みをつくと意見も増えてくると思う。
- 部会長**
- ・本日の議論については、事務局と調整して可能な範囲で計画への反映を検討し、今後の総会に、第 4 次基本計画案としてご審議いただくこととしたい。

## ② 総合戦略について

- 事務局**
- ・資料 No.2 第 2 期総合戦略「みらい・たかおか」の進捗状況について 説明
  - ・資料 No.2 参考資料 第 2 期総合戦略「みらい・たかおか」施策の KPI の進捗状況一覧表の KPI No.29「身の回りや地域の課題に対し、自分の考えを根拠に基づいて論理的にまとめ、相手に伝えることができた児童生徒の割合」及び KPI No.60「通訳・日本語支援・ホームステイ等のボランティアの登録者数」の修正について 説明
- 委員**
- ・P14 の企業版ふるさと納税について、高岡市外の企業に対して PR はしているのか。
- 事務局**
- ・企業と自治体を仲介するマッチングサービスの活用を検討している。
- 市長**
- ・コロナ禍が落ち着いた後は県外の本市ゆかりの企業へのトップセールスも進めてまいり。
- 有識者**
- ・P5 の数値目標及び KPI に「創業件数」があるが、廃業件数は把握しているのか。
- 事務局**
- ・KPI として設定していないため、把握していない。
- 委員**
- ・産業構造を変えていかないと日本の経済社会は持たない時代になってきている。小規模企業を統合し、ある程度規模のある企業にして、生産性を上げていかないと持たない。総合計画も総合戦略も進捗状況を丁寧に評価しているが、まちづくりや地域づくりを進めていくためには、建前やきれいな部分を表現するだけでは進んでいかない。市として本来あるべき姿を考えて進めていただきたい。ディスカウトプロモーションをしなくても社会増を目指すためには、ブランド力を高

めてくれるような強い地域、または場所を強くしていくしかないが、強さを何で計るかが問題。土地の値段で計るのも一つだと思う。高い土地をどのように魅力的にしていくのが大事である。

また、人口は大切な要素だが、コロナで日本の居住の考え方が変わってきている。これからは地域が力強くなっていかないといけないが、定住者はなかなか増えないため、マルチハビテーションというのが主体になると思う。現在の人口統計ではマルチハビテーションは把握できないが、市としてどのような都市デザインを描き、どのような人にきてもらいたいかを考える必要がある。強みというのは場所だけでなく、市が持っている産業や文化といった強みもあり、マルチハビテーションを強化していく取り組みや投資が必要である。

**市長** ・マルチハビテーションという新しい提案をいただいた。都市デザインも含めて今後考えていかないといけない重要な観点である。人口を増やすという高い目標に向け、いかに人口減少の下げ幅を止めながら、上向きにしていくための施策を打っていくかを複合的に取り組んでいく必要がある。計画の審議だけでなく、普段から皆様と意見交換をさせていただきながら、様々な意見を取り入れていきたいと考えている。

**有識者** ・放課後児童クラブは、高学年児童や、同じ地域に祖父母が居住している児童が入れない場合があると聞いている。ニーズに対して十分に応えられていないのではないか。

**委員** ・放課後児童クラブについては、運営に携わる人手不足が課題である。  
・数値目標として「放課後児童クラブの入所者数」を設定してあるが、目標値と達成状況だけでなく、ニーズに関する記載も必要ではないか。

**市長** ・放課後児童クラブの高学年のニーズについて調査中である。

**有識者** ・人手の確保についてしっかり取り組んでいただきたい。

**オブザーバー** ・高岡市のありたい姿、高岡市に何が足りないのかを考え、バックキャストの視点をもってまちづくりを進めるべきである。

#### (4) 閉 会

以上